

# 平成13年度 水源地域活性化事例集

---

平成14年3月

国土交通省土地・水資源局水資源部水源地域対策課  
株式会社 日本能率協会総合研究所

# 目 次

---

序 章 はじめに	1
第 1 章 調査の概要	2
1. 調査対象	2
2. 調査方法と項目	3
3. まとめ方	6
4. 調査結果の概要	7
第 2 章 水源地域活性化事例	9
1. 青森県西目屋村（津軽ダム）	9
2. 熊本県菊池市（竜門ダム）	15
3. 奈良県川上村（大滝ダム）	20
4. 鹿児島県鶴田町（鶴田ダム）	27
5. 島根県仁多町（尾原ダム）	31
6. 北海道美瑛町（忠別ダム）	39
7. 滋賀県信楽町（大戸川ダム）	45
8. 北海道東川町（忠別ダム）	51
9. 高知県大川村（早明浦ダム）	56



## 序章 はじめに

国土交通省では、水源地域の長期的安定・発展を図るため、関係地方公共団体、関係者の協力の下に、ダムや水文化等の地域の持つ資源や特性を活用した方策について、調査・検討を行ってきたところである。

これまで昭和62年度に実施した川治ダム周辺地域（栃木県栗山村）、大戸川ダム周辺地域（滋賀県信楽町）をはじめ、平成12年度の平瀬ダム周辺地域（山口県錦町）、小石原ダム周辺地域（福岡県小石原村）まで23箇所の水源地域において、それぞれの地域特性に応じたモデルとなる地域活性化計画を策定している。

本事例集は、これらの地域活性化計画を策定してきた地域について、活性化事業のその後の取り組み状況を調査し、特に進展がみられる事業について、その要因（活性化のポイント）を明らかにしたものである。

なかでも多くの水源地域の取り組みの中で、計画した事業が新たな企画（事業）へと発展したり、住民の参画、民間活力の導入が図られたりするなど、活性化事業内容の進捗、新たな展開がみられる代表的なものを中心に取りまとめた。

全国の水源地域がかかえる問題・課題は様々であるが、本事例集で取り上げた地域特性に応じた活性化計画、事業の進め方、地域の取り組みなど、活性化のポイントや今後の方向性を参考とすることによって、水源地域の活性化が図られることを望むものである。